



小さなものにも「思い」を宿して 皆が喜ぶグラフィックデザインを

TINY WORKS

株式会社 タイニー・ワークス

〒165-0026
東京都中野区新井 3-31-10
TEL / FAX 03-3388-4779
URL <http://tinyworksinc.com>
MAIL info@akira-t.net

Company data

本田 フリーランスから法人組織にされたとか。まずはおめでとうございます。

立川 ありがとうございます。現在はチラシ・ポスター・パンフレット・書籍・CDジャケット・イベント装飾といった各種デザインのプランニング・プロデュースや制作をしています。

本田 Webサイトの制作実績には、メジャーな役者さんの有名舞台のポスターも多くありますね。今までのキャリアが活かしているのでしょうか。

立川 独立前に勤めていたデザイン事務所・レコード会社・広告制作会社で、幅広いデザイン経験を積ませて頂いたことが大きいですね。特にチラシやパンフレットなど紙媒体の制作を得意としています。ただ、私のデザイナーとしての原点は雑貨屋の販売員時代に手がけたバッヂのデザイン。自分がデザインした商品が世に出回り、それを手にした人に喜んで頂ける——なんて素晴らしい仕事なんだろう、と思ったんです。

本田 デザインのお仕事が本当にお好きなんですね。

立川 はい、社名の「tiny」とは英語で「小さいさま」。バッヂ1つのデザインにも無限の可能性があると私は信じており、どんなに大きな案件を手がけるようになっても原点は変わりません。こ

の初心は忘れないでいようと、「TINY WORKS」と名づけました。

本田 素敵なおエピソードですね。では、実際に仕事を進める上で大切にしていることをお聞かせください。

立川 制作する際はデザインよりも制作コンセプトや目的を考えることが大事なので、クライアントとの打ち合わせを重視しています。仮に私とクライアントの間で意見のすり合わせがきちんできていないままにプレゼンをしたとしても、相手の反応で評価はすぐに分かっちゃうもの。ですから、なぜその制作物をつくるのかという部分から何度も話し合いを重ねていき、より良いデザインに仕上げたいのです。

本田 デザイナーお1人の力だけではなく、大勢のアイデアの結晶。人を大切に



代表取締役 / アートディレクター

立川 明

大阪府和泉市出身。大学時代は映像を学び、卒業後に勤めた雑貨屋でデザインに目覚める。上京後は数社でデザイナーとしての経験を積む。フリーランスを経て、その後2013年3月に法人化を果たした。

しながらものづくりをされているという印象です。

立川 そうですね。いずれはコピーライター・編集者・カメラマンなど、同業界で働くクリエイターを集めてクリエイティブ集団をつくりたいです。また以前、共に仕事をさせて頂き現在はニューヨークで勤務する恩師が帰国したら、もう一度一緒に仕事をしたいと考えています。当時よりも少し成長した自分の姿を、ぜひ見てもらいたいです。



Guest Comment

本田 泰人(サッカー解説者)

立川社長が実際にデザインされた作品を拝見させて頂き、私は特に、CDジャケットが格好良いと思いました！私は発想力やデザインセンスをほとんど持っていないので、あらゆるデザインができる社長が羨ましいです。これからも多くの人が喜ぶデザインを生み出してくださいね。



▲ 立川社長が手がけた制作物の一部。[写真左より]「ダイワハウス ルナ・レガロ〜月からの贈り物〜」チラシ、「舞台 しゃげ」チラシ